

スタディガイド

(学習指導書)

〈仏語 1〉

『ゼロから始めるフランス語』

富田 正二
柴崎 秀穂

法政大学通信教育部

スタディガイド（学習指導書）について

このスタディガイド（学習指導書）は「仏語1」を履修するにあたり、指定市販本教科書『ゼロから始めるフランス語』（三修社）を本学通信教育課程で学習する際の手助けとなるよう作成されたものです。

今後、指定市販本教科書で学習を進めていくにあたって、このスタディガイド（学習指導書）を大いに活用して学習に励んでください。

法政大学通信教育部

はじめに

この学習指導書は、指定教科書に一通り目を通した人たちが文法知識を整理しやすいようにという主旨で作成しました。文法早見表として活用していただければ幸いです。

もくじ

フランス語の綴り字と発音	2
第1章 名詞の性と数	2
第2章 冠詞	3
1.不定冠詞 2.部分冠詞 3.定冠詞	
◇前置詞と定冠詞の縮約	
第3章 基本構文	4
第4章 疑問文と否定文	4
◇否定の de ◇疑問文に対する答え方	
第5章 疑問詞	5
1.疑問副詞 2.疑問形容詞 3.疑問代名詞	
第6章 動詞	7
1.不定詞の語尾	
2.直説法現在形の活用語尾[規則動詞・不規則動詞の活用]	
3.命令形	
4.代名動詞の直説法現在形	
5.近接未来と近接過去	
6.直説法複合過去形	
7.受動態	
8.直説法単純未来形・前未来形	
9.直説法半過去形・大過去形	
10.現在分詞とジェロンディフ	
11.条件法現在形・過去形	
12.接続法現在形・過去形	
第7章 非人称構文	16
第8章 代名詞	17
1.人称代名詞 [主語人称代名詞, 目的語人称代名詞, 強勢形人称代名詞]	
2.関係代名詞 3.中性代名詞	
4.指示代名詞 5.所有代名詞	
第9章 形容詞	20
1.品質形容詞 2.指示形容詞 3.所有形容詞	
第10章 強調構文	21
第11章 比較構文	21
1.比較級 2.最上級 3.特殊な優等比較級・優等最上級	

フランス語の綴り字と発音

26 文字のアルファベのなかで、 **a, e, i, o, u, y** の 6 文字を母音字とよびま
す。それ以外は子音字です。また **œ** も母音字としてとり扱います。

1. 発音されない綴り字

単語末の **e** / 子音字 **h** / 単語末の子音字 (**c, r, f, l** は語末でも発音されます)
くるフル

2. 単母音字 (単語のなかで母音字が隣接せずに単独であらわれているもの)

a, à, â	e	é, è, ê	i, î	o, ô	u, û	y
ア	エ/ウ	エ	イ	オ	ユ	イ (=i)

3. 複母音字 (単語のなかで母音字が組みあわされてあらわれているもの)

ai, ei	œu, eu	au, eau	ou	oi
エ	ウ	オ	ウ	ワ

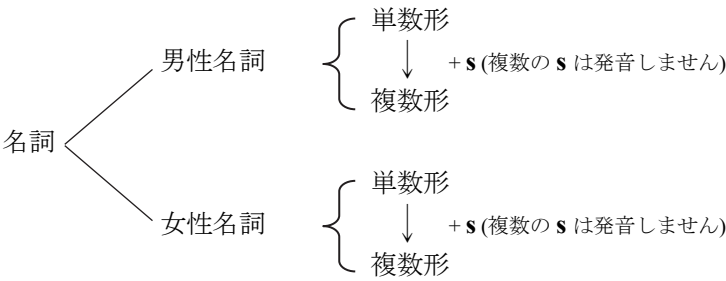
4. 鼻母音字 (母音字 + m, n)

am, an, em, en アン (オンに近いアン) **im, in, ain, ein, um, un** アン
om, on オン

5. 子音字

ç	f, ph	g, gu	k, qu	s	ch	gn
ス	フ	グ	ク	ス/ズ	シュ	ニユ

第 1 章 名詞の性と数



第2章 冠詞

名詞の性・数	男性・単数	女性・単数	男性/女性・複数
不定冠詞	un	une	des
部分冠詞	du (de l')	de la (de l')	
定冠詞	le (l')	la (l')	les

◇ 母音字または無音の h のまえでは、() 内の形になります。

1. **不定冠詞**＋不特定の、数えられる名詞. *un cahier* 1冊のノート
2. **部分冠詞**＋不特定の、数えられない名詞. *du pain* パン
3. **定冠詞**＋特定の名詞または総称される名詞.

la robe de Jeanne ジャンヌのドレス *le vin [les chats]* ワイン [猫] というもの

ここで「特定」とは、「会話のその場面で特定されている」ということ、もっと簡単に言えば「どれを指すか聞き手がわかっている」ということです。

「不特定」とは「どれを指すか聞き手がわかっていない」あるいは「どれでもいい」ということです。例えば、*un chat* は聞き手がどのネコだかわからない「あるネコ」、*le chat* は聞き手がどのネコだかわかる「そのネコ」です。

Donnez-moi une pomme (私にリンゴを一つください) は、「どれでもいいから一つのリンゴをください」ということです。

また、*J'aime le café/les chats* (私はコーヒー/ネコが好き [このケース、数えられるものは複数]) という文で、*le café/les chats* は、「総称＝概念としてのコーヒー/ネコ」を指しています。「総称＝概念」という言い方が分かりにくければ「一般論」と言ってもよいでしょう。「コーヒー一般/ネコ一般」です。個別的には嫌いなコーヒー/ネコもあるかもしれませんが、私は「一般論として」コーヒー/ネコが好きだ、と言っているのです。

なお、不定冠詞・部分冠詞との対比で言えば、*du café/ un chat* は、具体的に存在する「いくらかのコーヒー/あるネコ」を意味し、*le café/les chats* は「概念＝一般論としてのコーヒー/ネコ」を意味しています。

◇ 前置詞 **à** (...に, ...へ), **de** (...の, ...から)と定冠詞の縮約

à+le → au	à+les → aux	à+la → à la	à+l' → à l'
de+le → du	de+les → des	de+la → de la	de+l' → de l'

第3章 基本構文

1. 主語＋動詞 Marie travaille. マリーは勉強している.

2. 主語＋動詞＋属詞 Marie est étudiante. マリーは学生です.

◇ 属詞は, 身分, 国籍, 職業など, 主語や直接目的語の属性を示すことばです.

3. 主語＋動詞＋直接目的語 Elle aime sa mère. 彼女は母親を愛している.

4. 主語＋動詞＋間接目的語 Elle parle à sa mère. 彼女は母親に話しかける.

5. 主語＋動詞＋直接目的語＋間接目的語

Marie donne un CD à sa sœur. マリーはCDを姉[妹]にあげる.

6. 主語＋動詞＋直接目的語＋属詞

Je trouve Marie gentille. 私はマリーをやさしいと思う.

◇ 直接目的語は前置詞を伴わず, 多くは「...を」と, 間接目的語は前置詞(おもに à)を伴い, 多くは「...に」と訳します. 以下ではそれぞれ直・目, 間・目と略します.

第4章 疑問文と否定文

1. 疑問文

(1) イントネーション : Tu écoutes des CD ? 君はCDを聞く?

(2) **Est-ce que (qu')**～ : *Est-ce que tu écoutes des CD ?*

(3) 倒置疑問文

a) 単純倒置 (動詞＋主語人称代名詞) : *Écoutes-tu des CD ?*

b) 複合倒置(主語名詞＋動詞＋主語名詞に対応する主語人称代名詞)

Alain écoute-t-il des CD ? アランはCDを聞いているのですか?

◇ 倒置とは主語を動詞のうしろにおくことをいいます.主語が代名詞のときはこれをトレ・デュニオンでつなぎます.倒置した結果, トレ・デュニオンが母音字にはさまれたときは, 動詞と主語人称代名詞のあいだに**-t-**を入れます.

2. 否定文

否定形：**ne(n')**＋活用している動詞＋**pas**

Ils sont étudiants. → Ils *ne sont pas* étudiants. 彼らは学生ではない。
Il aime le vin. → Il *n'aime pas* le vin. 彼はワインが好きではない。

◇ 1) 否定文では直接目的語につく不定冠詞と部分冠詞は **de(d')**にかわります。

J'ai un chat. → Je *n'ai pas de* chat. 私は猫を飼っていない。

Il boit du café. → Il *ne boit jamais de* café. 彼はけしてコーヒーを飲まない。

「属詞（動詞が être 等、構文が SVC）」のときは、変わりません。

C'est un chat. → Ce *n'est pas* un chat. これは猫ではない。

「定冠詞」も変わりません。

J'aime les chats. → Je *n'aime pas* les chats. 私は猫が好きではない。

2) 疑問詞を用いない疑問文に対する答えかた

i) 肯定疑問文：Oui か Non で答えます。

Il danse bien ? 彼はうまく踊るの？

— Oui, il danse bien. -はい、彼はうまく踊る。

— Non, il ne danse pas bien. -いいえ、彼はうまく踊れない。

ii) 否定疑問文：Si か Non で答えます。

Tu ne prends pas l'escalier ? 君は階段を使わないの？

— Si, je prends l'escalier. -いいえ、私は階段を使う。

— Non, je ne prends pas l'escalier. -はい、私は階段を使わない。

第5章 疑問詞

1. 疑問副詞：**où** どこに？, **quand** いつ？, **comment** どのようにして？,
combien いくつ？, いくら？, **pourquoi** なぜ？

Tu vas où ? 君はどこへ行くの？

Quand est-ce que tu pars ? 君はいつ出発するの？

Comment allez-vous à Nice ? ニースへはどうやって行くのですか？

語順は、疑問詞+VS?, 疑問詞+ est-ce que+SV?, SV+疑問詞?の3通りが可能です。例えば、最初の例文は

Où vas-tu ?

Où est-ce que tu vas ?

ということもできます．第二の例文は，

Quand pars-tu ?

Tu pars quand ?

ということもできます．

2. 疑問形容詞 (どのような...?, ...は何 ?)

男性単数

女性単数

男性複数

女性複数

quel

quelle

quels

quelles

Tu as *quel* âge ?

君は何歳 ?

= Quel âge as-tu ?

= Quel âge est-ce que tu as ?

Quels sont ces animaux ?

あの動物は何ですか ?

3. 疑問代名詞

(1) 性・数変化しないもの

	主語 (...が)	直・目 (...を), 属詞 (-)	間・目 (...に), 状況補語
人 (誰)	(a) qui qui est-ce qui	(b) qui + 倒置形 qui est-ce que	(c) 前置詞 + qui + 倒置形 前置詞 + qui est-ce que
もの (何)	(d) qu'est-ce qui	(e) que + 倒置形 qu'est-ce que	(f) 前置詞 + quoi + 倒置形 前置詞 + quoi est-ce que

(a) *Qui* chante ? = *Qui est-ce qui* chante ?

誰が歌ってるの ?

(b) *Qui* cherches-tu ? = *Qui est-ce que* tu cherches ?

君は誰を探しているの ?

= Tu cherches qui ?

Qui est cette personne ?

あの人は誰ですか ?

(c) *Avec qui* voyages-tu ?

君は誰と旅行するの ?

= Avec qui est-ce que tu voyages ?

= Tu voyages avec qui ?

(d) *Qu'est-ce qui* ne va pas ?

何がうまくいかないの ?

(e) *Que* cherches-tu ? = *Qu'est-ce que* tu cherches ?

君は何を探してるの ?

= Tu cherches quoi ?

Qu'est-ce que c'est ?

あれは何ですか？

(f) *À quoi pensez-vous ?*

あなたは何のことを考えているのですか？

= À quoi est-ce que vous pensez ?

= Vous pensez à quoi ?

(2) 性・数変化するもの（「～のなかの誰，どれ」と選択を表わします）

lequel(男・單), **laquelle**(女・單), **lesquels**(男・複), **lesquelles**(女・複)

Lequel de ces sacs préfères-tu ? これらのバッグのうちどれが好きなの？

第6章 動詞

1. 不定詞の語尾 **-er** (ex.chanter), **-ir** (ex. finir), **-re** (ex. être),
-oir (ex. avoir)

2. 直説法現在形の活用語尾 (avoir, être, aller を除きます)

je — **e**¹⁾ — **s**²⁾ — **s**³⁾ — **x**⁴⁾

tu — es — s — s — x

il, elle, on — e — t — □ — t

nous — ons

VOUS — **ez** (例外 dire : vous dites, faire : vous faites)

ils, elles — **ent** (例外 faire : ils font)

◇ 1) **-er** 型規則動詞

2) 多くの不規則動詞

3) attendre 型, prendre 型, mettre 型 4) pouvoir, vouloir

(1) 規則動詞

(a) **-er** 型規則動詞:語尾**-er** が**-e, -es, -e, -ons, -ez, -ent** と変化します。

(b) **-ir** 型規則動詞:語尾**-ir** が**-is, -is, -it, -issons, -issez, -issent**と変化します。

chanter 歌う

finir 終わる, 終わる

je chante nous chantons je finis nous finissons

tu chantes vous chantez tu finis vous finissez

il chante ils chantent il finit ils finissent

(2) 不規則動詞

avoir ...を持つ

être ...である,...にいる

j'	ai	nous	avons	je	suis	nous	sommes
tu	as	vous	avez	tu	es	vous	êtes
il	a	ils	ont	il	est	ils	sont
aller 行く				venir 来る			
je	vais	nous	allons	je	viens	nous	venons
tu	vas	vous	allez	tu	viens	vous	venez
il	va	ils	vont	il	vient	ils	viennent
partir 出発する				connaître 知る			
je	pars	nous	partons	je	connais	nous	connaissons
tu	pars	vous	partez	tu	connais	vous	connaissez
il	part	ils	partent	il	connaît	ils	connaissent
voir 見る, 見える				savoir 知っている			
je	vois	nous	voyons	je	sais	nous	savons
tu	vois	vous	voyez	tu	sais	vous	savez
il	voit	ils	voient	il	sait	ils	savent
dire 言う				faire ...をする, 作る			
je	dis	nous	disons	je	fais	nous	faisons
tu	dis	vous	dites	tu	fais	vous	faites
il	dit	ils	disent	il	fait	ils	font
attendre 待つ				prendre とる, 乗る			
j'	attends	nous	attendons	je	prends	nous	prenons
tu	attends	vous	attendez	tu	prends	vous	prenez
il	attend	ils	attendent	il	prend	ils	prennent
mettre 置く				devoir (+不定詞) ...しなければならない			
je	mets	nous	mettons	je	dois	nous	devons
tu	mets	vous	mettez	tu	dois	vous	devez
il	met	ils	mettent	il	doit	ils	doivent
pouvoir (+不定詞) ...することができる				vouloir ...を望む, (+不定詞) ...したい			
je	peux	nous	pouvons	je	veux	nous	voulons
tu	peux	vous	pouvez	tu	veux	vous	voulez
il	peut	ils	peuvent	il	veut	ils	veulent

用法：直説法現在形は現在の行為や状態，習慣などを表わします。
フランス語には進行形がありませんから，英語の現在進行形はフランス語では通常の現在形で表します。

Il *joue* de la guitare dans sa chambre. 彼は部屋でギターを弾いている。

(= He is playing the guitar in his room.)

Il *prend* tous les jours ses repas au restaurant. 彼は毎日レストランで食事をする。

3. 命令形

finir 終わる

tu	finis	finis	終えなさい	ne	finis	pas
nous	finissons	finissons	終わましょう	ne	finissons	pas
vous	finissez	finissez	終わってください	ne	finissez	pas

◇ 1) -er 型規則動詞と **aller** の **tu** に対する命令形では，語末の **s** が脱落します。

chanter : tu chantes → chante, aller : tu vas → va

2) **avoir** と **être** は特殊な命令形をとります。

	(tu)	(nous)	(vous)
avoir :	aie	ayons	ayez
être :	sois	soyons	soyez

Ouvrez la fenêtre. 窓を開けてください。

Ne sois pas paresseux. 怠けるな。

4. 代名動詞の直説法現在形

se lever 起きる (←自分自身を起こす)

je	me	lève	nous	nous	levons	否定形 : je ne me lève pas
tu	te	lèves	vous	vous	levez	倒置疑問形 : se lève-t-il ?
il	se	lève	ils	se	lèvent	命令形 : lève-toi, levons-nous
elle	se	lève	elles	se	lèvent	levez-vous

◇ 肯定命令形では，**me, te** はそれぞれ **moi, toi** にかえなければなりません。

À quelle heure *te lèves-tu* ? (再帰的 : **se** は直・目) 君は何時に起きるの？

Ils *se téléphonent* souvent. (相互的 : **se** は間・目) 彼らはお互いによく電話する。

Ce livre ne *se vend* pas bien. (受動的 : **se** は常に直・目) この本はあまり売れない。

Il *se moque* de moi. (本質的 : **se** は常に直・目) 彼は私をばかにする。

5. 近接未来と近接過去

(1) 近接未来 : **aller** の活用形 + 不定詞 まもなく...する, ...しようとしている

Nous *allons partir* dimanche. 私たちは日曜日に出発します.

(2) 近接過去 : **venir** の活用形 + **de** + 不定詞 (先ほど) ...したばかりだ

Il *vient de rentrer* de l'école. 彼は学校から帰ってきたばかりです.

6. 直説法複合過去形

助動詞(**avoir** または **être** の直説法現在形) + 過去分詞

lire 読む					sortir 外出する				
j'	ai	lu	nous	avons	lu	je	suis	sorti(e)	nous sommes sorti(e)s
tu	as	lu	vous	avez	lu	tu	es	sorti(e)	vous êtes sorti(e)(s)
il	a	lu	ils	ont	lu	il	est	sorti	ils sont sortis
elle	a	lu	elles	ont	lu	elle	est	sortie	elles sont sorties

否定形 : je n'ai pas lu 倒置疑問形 : est-il sorti ?

◇ 1) 過去分詞の作りかた

不定詞の語尾 **-er** → **-é** (例外なし) : donner 与える > donné ; aller 行く > allé

不定詞の語尾 **-ir** → **-i** : finir 終える > fini ; sortir > sorti

être > été ; mettre 置く > mis ; prendre とる > pris ; dire 言う > dit ;

faire ...する > fait ; avoir > eu ; lire > lu ; pouvoir ...できる > pu

2) **être** を助動詞とする自動詞

aller 行く ↔ venir (venu) 来る, partir 出発する ↔ arriver 到着する, sortir

出る ↔ entrer 入る, monter 上がる ↔ descendre (descendu) 下りる, tomber

落ちる, naître (né) 生まれる ↔ mourir (mort) 死ぬ, rester とどまる

3) 助動詞が **être** の場合, 過去分詞は主語の性・数に一致します.

4) monter, descendre, passer, sortir など, 自動詞と他動詞の両方の用法を持つ動詞もあります. 自動詞のときは **être**, 他動詞のときは **avoir** が助動詞となります.

Elle est passée chez moi. (彼女は私の家に立ち寄った)

Elle a passé la frontière. (彼女は国境を越えた)

■ 代名動詞の複合過去形

再帰代名詞 + 助動詞 (常に **être**) の直説法現在形 + 過去分詞

Elle s'est levée à six heures. 彼女は 6 時に起きた.

Ils se sont lavé les mains avant de manger. 彼らは食べるまえに手を洗った.

◇ 再帰代名詞(以下 **se** と略)が直・目の場合、過去分詞は **se**(=主語)の性・数に一致します。**se** が直・目か間・目かをみるには、**se lever** では **lever** (起こす) が「人」を直・目としてとるのか、間・目としてとるのかを調べます。たとえば、**lever son enfant** (子どもを起こす) とはいえますが、**lever à son enfant** (子どもに起こす) とはいえません。つまり **lever** は「人」を直・目としてとる性質があるのです。このとき **se** も直・目です。**se laver les mains** のように、**se** 以外に目的語(**les mains**)があるときには、こちらから調べます。「手を洗う」ですから、**les mains** は **laver** の直・目です。したがって、**se** は間・目だとわかります。目的語が2つ併用された文では、一方が直・目なら他方はかならず間・目になるからです。

用法：過去の事柄、完了、経験などを表わします。

Il s'est levé de bonne heure ce matin. 彼はけさ早起きした。
J'ai lu ce roman l'année dernière. 去年、私はその小説を読んだ。
Je n'ai jamais visité ce musée. 私は1度もその美術館へ行ったことがない。

7. 受動態

助動詞 **être** の活用形 + 他動詞の過去分詞 + **par**(または **de**) + 動作主補語
Louis invite [a invité] Lise. ルイはリズを招く [招いた].

→ *Lise est invitée [a été invitée] par Louis.* リズはルイから招かれる [招かれた].

◇ 過去分詞は主語の性・数に一致します。また、動作主補語を導く前置詞は、動詞が感情を表わす場合 (*aimer* 愛する, *respecter* 尊敬する, など) には **de** を用います。

8. 直説法単純未来形・前未来形

(1) 単純未来形：[語幹]動詞の不定詞語尾から **-r [-re]** を除いたもの
 [語尾]-**rai, -ras, -ra, -rons, -rez, -ront**

chanter 歌う				aller 行く			
je	chanterai	nous	chanterons	j'	irai	nous	irons
tu	chanteras	vous	chanterez	tu	iras	vous	irez
il	chantera	ils	chanteront	il	ira	ils	iront

◇ 語幹の例外

être > *je serai* ; *avoir* > *j'aurai* ; *aller* 行く > *j'irai* ; *venir* 来る > *je viendrai* ;

vouloir ...したい> *je voudrai* ; faire ...をする> *je ferai*

用法：未来の事柄やおだやかな命令を表わします。

Nous *irons* au théâtre demain soir.

私たちは明晩芝居を見に行きます。

Tu *m'éciras* la semaine prochaine.

来週私に手紙を書いてね。

(2) 前未来形：助動詞(**avoir** または **être**)の直説法単純未来形+過去分詞

finir 終える : *j'aurai fini*...

aller 行く : *je serai allé(e)*...

用法：未来のある時点よりまえに完了している事柄を表わします。

Je partirai quand j'aurai fini ce travail.

この仕事を終えたら、出かけます。

9. 直説法半過去形・大過去形

(1) 半過去形：[語幹] 直説法現在形 1 人称複数(**nous**)の活用形から、活用

語尾 **-ons** を除いたもの。 ◇語幹の例外：**être** > **ét-**

[語尾] **-ais, -ais, -ait, -ions, -iez, -aient**

prendre とる, 乗る (*nous prenons*)

être

je *prenais* nous *prenions*

j' *étais* nous *étions*

tu *prenais* vous *preniez*

tu *étais* vous *étiez*

il *prenait* ils *prenaient*

il *était* ils *étaient*

用法

「半過去」の「半」は行為「半ば」を意味し、過去のある時点・ある時期における継続中の行為、状態、習慣・反復を表します。過去のある時点における「現在」と言ってもかまいません。例えば、現在形で *Je lis ce roman* (私はこの小説を読んでいる), *J'habite à Paris* (私はパリに住んでいる), *Je vais au cinéma une fois par semaine* (私は一週間に一回映画に行く) と言えば、それぞれ「今」における継続中の行為、状態、習慣・反復を意味します。この「今」を「過去のある時点」に移し換えたものが「半過去」です。

具体的には, *Je lisais ce roman* ([そのとき] 私はこの小説を読んでいた), *J'habitais à Paris* ([そのころ] 私はパリに住んでいた), *J'allais au cinéma une fois par semaine* ([そのころ] 私は一週間に一回映画に行ったものだった) となります。

なお, 複合過去は「現在から見た過去」です。 *Quand j'ai vu Marie hier, elle portait une jupe bleue* (昨日私がマリーに会ったとき、彼女は青いスカー

トをはいていた) という文で、「私がマリーに会った (j'ai vu Marie)」は、「現在から見た過去」, 「彼女は青いスカートををはいていた (elle portait une jupe bleue)」は、「過去のその時点における状態」です。混同しないように注意してください。

- (2) 大過去形：助動詞(**avoir** または **être**)の直説法半過去形+過去分詞
finir 終える： j'avais fini... partir 出発する： j'étais parti(e)...

用法

- (a) 過去のある時点より以前に完了している事柄を表わします。

Quand je lui ai téléphoné, il *avait* déjà *fini* ses devoirs.

私が彼に電話したとき、彼はすでに宿題を終えていた。

- (b) 従属節で、主節の過去の時点以前に完了している事柄を表わします。

Je croyais que tu *avais* *arrêté* de fumer.

君はたばこをやめたのかと思っていたよ。

10. 現在分詞とジェロンディフ

- (1) 現在分詞：[語幹] 直説法現在形 1 人称複数(nous)の活用形から、語尾
-ons を除いたもの

[語尾] -ant

danser (nous dansons) > dansant, prendre (nous prenons) > prenant

◇語幹の例外：avoir > ayant, être > étant, savoir > sachant

用法：名詞を修飾する形容詞として働いたり、主語と同格で分詞構文を作ったりします。(同時性：～しながら, 理由：～なので, 譲歩：～にもかかわらず, 条件：～すれば)

Regardez cette fille *dansant* avec Paul.

ボールと踊っているあの娘をごらんください。

Étant très fatigué, je suis resté à la maison.

とても疲れていたのに、私は家にいた。

- (2) ジェロンディフ：en+現在分詞

用法：動詞を修飾する副詞節の働きをします。

Ils travaillent *en écoutant* la radio. 彼らはラジオを聞きながら勉強している。

En partant tout de suite, tu arriveras à l'heure. すぐ出れば、定刻につくよ。

11. 条件法現在形・過去形

(1) 現在形：[語幹] 直説法単純未来形の語幹

[語尾] **-rais, -rais, -rait, -rions, -riez, -raient**

aimer ...したい				aller 行く			
j'	aimerais	nous	aimerions	j'	irais	nous	irions
tu	aimerais	vous	aimeriez	tu	irais	vous	iriez
il	aimerait	ils	aimeraient	il	irait	ils	iraient

(2) 過去形：助動詞(**avoir** または **être**)の条件法現在形+過去分詞

faire 作る： j'aurais fait... **aller** 行く： je serais allé(e)...

用法

- (a) 現在の事実と反する仮定、未来についてのあり得ない仮定において、その帰結を表します。

<Si+直説法半過去形(もし...ならば), 条件法現在形(...なのだが)>

S'il faisait beau, j'irais à la mer. もし晴れていれば、海へ行くのだが。

この例では、実際は「晴れて」おらず、そのため「海に行く」ことはできません。それを「もし晴れていれば、海に行くのに」と言っているのです。現在の事実と反するか否か、未来についてあり得るかあり得ないかは、話者の主観によることもあり、あいまいなケースもあります。そのとき、あえて半過去+条件法を用いれば、「現在の事実はそうではない」「(未来について) そんなことはあり得ない」というニュアンスになります。

未来についての「あり得る仮定」は、〈Si+直説法現在形, 直説法単純未来形〉を用います。

Si tu réussis, je t'offrirai un dîner. (合格したら、夕飯おごってあげる)

次のように半過去+条件法で言う「合格するはずがない」というニュアンスになるので、注意してください。

Si tu réussissais, je t'offrirais un dîner.

- (b) 過去の事実と反する仮定にもとづく帰結を表わします。

<Si+直説法大過去形(もし...だったら), 条件法過去形(...だったのだが)>

S'il avait fait beau, je serais allé à la mer.

もし晴れていたら、海へ行ったのだが。

- (c) 従属節で、現在形は主節の過去からみた未来、過去形は主節の過去からみて未来のある時点までに完了している事柄を表わします。

Il m'a dit qu'il *irait* à Paris le lendemain. 彼は私に、翌日パリへ行くと言った。

Il m'a dit qu'il *serait parti* avant midi. 彼は正午までには出発していると言った。

(d) 語調緩和を表わします。

J'aimerais visiter ce château.

そのお城を訪れたいのですが。

12. 接続法現在形・過去形

- (1) 現在形：[語幹] *je, tu, il, ils* は直説法現在 *ils* の活用語尾 **-ent** を除いたもの、*nous, vous* は直説法現在 *nous* の活用語尾 **-ons** を除いたもの

[語尾] **-e, -es, -e, -ions, -iez, -ent**

- (a) 語幹がかわらないもの

donner 与える

(ils *donnent*, nous *donnons*)

je *donne* *nous* *donnions*

tu *donnes* *vous* *donniez*

il *donne* *ils* *donnent*

同型： **-er** 型規則動詞, **-ir** 型規則動詞

◇ 特殊な語幹をもつ動詞

faire ...する > *fass-*

je *fasse* *nous* *fassions*

tu *fasses* *vous* *fassiez*

il *fasse* *ils* *fassent*

同型： *pouvoir* ...できる > *je puisse...*

savoir 知る > *je sache...*

- (b) *nous* と *vous* で語幹がかわるもの

venir 来る

(ils *viennent*, nous *venons*)

je *viens* *nous* *venions*

tu *viens* *vous* *veniez*

il *viens* *ils* *viennent*

同型： *voir* 見る, *prendre* 取る

aller 行く > *aill-*, (nous *allons*)

j' *aie* *nous* *allions*

tu *aies* *vous* *alliez*

il *aie* *ils* *aillent*

同型： *vouloir* 望む > *je veuille...*

nous *voulions...*

- (c) *avoir* と *être* は語幹も語尾も特殊な形をとります。

avoir

j' *aie* *nous* *ayons*

tu *aies* *vous* *ayez*

il *ait* *ils* *aient*

être

je *sois* *nous* *soyons*

tu *sois* *vous* *soyez*

il *soit* *ils* *soient*

- (2) 過去形：助動詞(**avoir** または **être**)の接続法現在形+過去分詞

voir 見る : *j'aie vu...*

aller 行く : *je sois allé(e)...*

用法：おもに従属節(*que...*)において、実現の可能性が不確かな事柄や主観性の濃い事柄など、たんに頭のなかで考えられたことを表現するために

用います。時制については、現在形が主節の動詞が示す時と同時かそれ以後の事柄を、過去形は主節の動詞が示す時以前に完了している事柄を表わします。

(a) 名詞節で：主節の動詞(句)が願望、命令、感情などを表わすとき。

Je veux que vous travailliez plus. 私は君たちにもっと勉強してもらいたい。

Il faut que tu ailles voir ta tante. 君はおばさんに会いに行かなければならない。

第一の例で「君たちがもっと勉強する」ことは、事実(＝直説法で言う)でも反事実(＝条件法で言う)でもなく、「私」の「欲求」の内容として、単に「想定されただけ」のこと、「頭の中で考えられただけ」のことです。同様に第二の例では、「君がおばさんに会いに行く」ことは、私が君の「義務」として「想定しただけ」のことです。

(b) 副詞節で：目的、条件、譲歩、時などを表わす接続詞句とともに。

Je vais l'appeler pour qu'il vienne m'aider. 私は彼が手伝いに来るように電話する。

Bien qu'il soit pauvre, il est heureux. 彼は貧しいけれど幸福です。

第一例で「彼が手伝いに来る」ことは、私が「目的」として「想定しただけのこと」です。第二の例は、「確かに彼は貧しいが」という主観的な譲歩の気分、「貧しいにも関わらず」という矛盾の感情を表す、と説明されます(文法学者の間でも議論があるようです)。あまり難しく考えず、「*bien que* は接続法」と覚えてしまう方がよいでしょう。

(c) 形容詞節(＝関係詞節)で：

i) 先行詞が最上級またはそれに準ずる表現(*seul, premier*)のとき。

C'est le plus beau paysage que j'aie jamais vu.

これはかつて見たなかで最も美しい風景です。

ii) 主節が目的・希望あるいは否定・疑問を表わすとき。

Je cherche un médecin qui puisse me guérir.

私の病気を治すことのできる医者を探しています。

(d) 独立節で：3人称に対する命令・願望を表わします。

Qu'il fasse beau demain !

あした晴れますように！

第7章 非人称構文

II(「彼は」とも「それは」とも訳さない形式主語)+動詞

Il pleut. (← *pleuvoir*) 雨が降る。

Il neige. (← *neiger*) 雪が降る。

<i>Il fait beau</i> [mauvais, chaud, froid]. (← faire)	天気がよい [悪い, 暑い, 寒い].
<i>Il est trois heures et demie.</i> (← être)	3時半です.
<i>Il faut partir demain.</i> (← falloir)	あす出発しなければならない.
<i>Il y a une table devant la fenêtre.</i> (← avoir)	窓のまえにテーブルがある.

第8章 代名詞

1. 人称代名詞

数	単数				複数			
人称	1 人称	2 人称	3 人称		1 人称	2 人称	3 人称	
			男性	女性			男性	女性
主語（～は）	je (j')	tu	il	elle	nous	vous	ils	elles
直・目（～を）	me (m')	te (t')	le (l')	la (l')	nous	vous	les	
間・目（～に）			lui				leur	
強勢形（～）	moi	toi	lui	elle	nous	vous	eux	elles

◇ 1) () 内は母音字または無音の **h** で始まる語のまえで用います.

2) 「もの・事柄」には, その性・数に応じて3人称の代名詞を使います. ただし, 間接目的語人称代名詞 **lui** 「彼(女)に」, **leur** 「彼(女)らに」は, 「人」にしか使いません.

3) 3人称複数で男性と女性がまじっているときは, 男性複数とみなします.

le livre et la table → **ils** **Jean et Marie** → **ils**

(1) 主語人称代名詞

(a) **tu** は家族, 友だちなど親しい間柄で用いられ, 丁寧な言葉づかいをする場面では, 相手が1人でも **vous** を用います.

(b) **on** 「私たちは, 人は」も主語として用いられ, 動詞活用は3人称単数です.

(2) 目的語人称代名詞

(a) 肯定命令文以外: **動詞**(または**助動詞**)の直前におきます.

Il prête ces livres à Louis. → **Il les prête à Louis.** 彼はそれらをルイに貸す.

彼はそれらの本をルイに貸す. → **Il lui prête ces livres.** 彼はそれらの本を彼に貸す.

Il a prêté ces livres à Louis. 彼はそれらの本をルイに貸した.

→ **Il les a prêtés à Louis.** 彼はそれらをルイに貸した.

ces livres は複数, 3人称, 男性, 直・目ですから **les** に, **à Louis** は単数, 3

人称, 男性, 間・目ですから **lui** におきかえます. 複合時制では, 過去分詞はこれに先行した直・目の性・数に一致します.

◇ 2つの代名詞を併用するときは次の語順によります.

(主語)+(ne) +	me	le la les	lui leur	+(助)動詞 + (pas)
	te			
	nous			
	vous			

Il **les lui** prête.

彼はそれらを彼に貸す.

- (b) 肯定命令文: 動詞の直後にトレ・デュニオン(-)でつながります.

Rends **cette clé** à tes parents. → Rends-**la** à tes parents. それを両親に返せ.

その鍵を両親に返しなさい. → Rends-**leur** **cette clé**. その鍵を彼らに返せ.

cette clé は単数, 3人称, 女性, 直・目ですから **la** に, **tes parents** は複数, 3人称, 男性, 間・目ですから **leur** におきかえます.

Rends-**moi** **cette clé**. その鍵を私に返しなさい. (**me** は **moi** になります)

◇ 2つの代名詞を併用するときは〈動詞-直・目-間・目〉の語順にします.

Rends-**la-leur**. それを彼らに返しなさい.

- (3) 強勢形人称代名詞

主語の強調として, また, 前置詞や **c'est**, **que** のあとで用います.

Moi, je reste. 私のほうは, 家にいます. **Allons chez lui**. 彼の家へ行きましょう.

C'est vous? それはあなたなの? **Je n'aime que toi**. 私は君だけを愛している.

2. 関係代名詞

- (1) 性・数変化しないもの

- (a) **qui** 先行詞(人・もの)は関係詞節の動詞の主語になります.

Je connais un étudiant qui s'appelle Alain.

先行詞

関係詞節

私はアランという学生を知っている.

- (b) **que** 先行詞(人・もの)は関係詞節の動詞の直接目的語になります.

Je vous montre un tableau qu'il a peint.

彼が描いた絵をお見せします.

- (c) **dont** de+先行詞(人・もの)が関係詞節中の補語になります.

J'ai un ami dont le frère travaille à Paris.

私は兄がパリで働いている友人がいる.

- (d) **où** 先行詞(もの)は関係詞節中で場所・時を表わす状況補語になりま

す.

La maison où il habite se trouve près d'ici.

彼が住んでいる家はこの近くにある。

Tu te souviens de ce jour où tu es arrivé ici ? ここについた日を覚えている？

- (e) 前置詞＋**qui** 先行詞(人)は関係詞節中で間接目的語・状況補語になります。

Tu connais la dame avec qui il parle ? 彼が話している女性を知ってる？

- (2) 性・数変化するもの

前置詞＋**lequel**(男・単), **laquelle**(女・単), **lesquels**(男・複), **lesquelles**(女・複)

先行詞(主として, もの)は関係詞節中で間接目的語・状況補語になります。

Dis-moi la raison pour laquelle tu es arrivé en retard. 遅刻した理由を言いなさい。

3. 中性代名詞 (性・数の変化がありません。語順は, 目的語人称代名詞と同じです)

- (1) **y** (← à + もの・事柄)

Il va à Paris / en France. → Il y va. 彼はパリ／フランス[そこ]へ行く。

◇ 「そこに」と場所を表わすときは, 前置詞はà以外でもかまいません。

- (2) **en** (← de +)

Il est rentré de son bureau. → Il en est rentré. 彼は会社[そこ]から帰ってきた。

◇ 直接目的語になる des [du]＋名詞, <数詞＋名詞>の<名詞>は **en** に代えることができます。

Vous avez des timbres ? → Vous en avez ? 切手[それ]はありますか？

Il a deux frères. → Il en a deux. 彼には2人の兄弟がいる[2人いる]。

- (3) **le** : 文, 節, 不定詞, 属詞(形容詞, 名詞)に代わります。

Il sait que je l'aime. → Il le sait. 彼は私が愛していること[そのこと]を知っている。

Elle est très mignonne. → Elle l'est. 彼女はとてもかわいらしい[そうだ]。

4. 指示代名詞

- (1) 性・数変化しないもの : **ce, ceci/cela, ça**(cela のくだけた形)

Ce sont mes cahiers. これらは私のノートです。

J'aime ceci, mais je n'aime pas cela. こちらは好きだ。でもこちらは好きではない。

- (2) 性・数変化するもの : **celui**(男・単), **celle**(女・単), **ceux**(男・複), **celles**(女・複)

Voilà ma moto et celle de Nicolas. あれは私のバイクとニコラのものです。

Vous prenez *celle-ci* ou *celle-là* ? こちらにしますか、あちらにしますか？

5. 所有代名詞

所有者 \ 所有される名詞 の性・数	男性・単数	女性・単数	男性・複数	女性・複数
私のもの (je)	le mien	la mienne	les miens	les miennes
君のもの (tu)	le tien	la tienne	les tiens	les tiennes
彼(女)のもの (il, elle)	le sien	la sienne	les siens	les siennes
私たちのもの (nous)	le nôtre	la nôtre	les nôtres	
あなた(たち)のもの (vous)	le vôtre	la vôtre	les vôtres	
彼(女)らのもの (ils, elles)	le leur	la leur	les leurs	

Mon atelier est moins grand que *le sien*. 私のアトリエは彼(女)のもののほど広くない。

第9章 形容詞

1. 品質形容詞

(1) 性・数一致 (形容詞は関係する名詞の性・数に応じて形が変わります)

	単数	複数	
男性	petit	petits	<i>une petite maison</i> 一軒の小さな家 (付加的用法)
女性	petite	petites	<i>La maison est petite.</i> その家は小さい。(属詞的用法)

(2) 付加形容詞の位置

原則：冠詞[指示形容詞, 所有形容詞]+名詞+形容詞

une amie française フランス人の友人 *ma robe verte* 私の緑のワンピース
ただし、名詞のまえにおかれる形容詞もあります。

bon よい **mauvais** 悪い **grand** 大きい **petit** 小さい
vieux 年老いた **jeune** 若い **nouveau** 新しい **beau** 美しい **joli** かわいい
un bon médecin いい医者 **la jolie maison** きれいな家

◇ <des+形容詞+複数名詞>の配列では、des が **de** にかわります。

un bon livre 1冊の良書 → *de bons livres* 数冊の良書

2. 指示形容詞

男性単数	女性単数	男性/女性・複数	◇ 母音字または無音の h のまえでは () 内の形になります。
ce (cet)	cette	ces	

ce dictionnaire この辞書
cette église あの教会

cet après-midi きょうの午後
ces gâteaux これらのケーキ

3. 所有形容詞

所有者 \ 名詞の性・数	男性・単数	女性・単数	男性/女性・複数
私の (je)	mon	ma (mon)	mes
君の (tu)	ton	ta (ton)	tes
彼(女)の(il, elle)	son	sa (son)	ses
私たちの (nous)	notre		nos
あなた(たち)の (vous)	votre		vos
彼(女)らの (ils, elles)	leur		leurs

◇ 母音字または無音の h のまえでは、() 内の形になります。

mon oncle 私のおじ *ta mère* 君の母 *son adresse* 彼(女)の住所
votre fils あなた(たち)の息子 *leurs enfants* 彼(女)らの子どもたち

第 10 章 強調構文

主語の強調：**C'est**＋主語＋**qui**＋動詞

主語以外の語(句)の強調：**C'est**＋主語以外の語(句)＋**que**＋主語＋動詞

Il est sorti hier soir.

彼は昨晚外出した。

→ *C'est lui qui* est sorti hier soir.

昨晚外出したのは彼です。

→ *C'est hier soir qu'il* est sorti.

彼が外出したのは昨晚です。

◇ 主語人称代名詞を強調するとき、**C'est** のあとは強勢形人称代名詞を使います。

第 11 章 比較構文

1. 比較級：**plus [aussi, moins]**＋形容詞・副詞＋**que**～

Elle est *plus âgée que* toi.

彼女は君より年上です。

Elle sort *aussi souvent que* toi.

彼女は君と同じくらいよく外出する。

◇ 1) 形容詞は、関係する名詞・代名詞の性・数に一致します。

2) おもな副詞(性・数の一致はありません)

trop あまりに	beaucoup おおいに	assez かなり	peu 少し
déjà すでに	encore まだ	souvent しばしば	toujours 常に
très とても	tellement それほど	tard 遅く	vite 速く

2. 最上級：定冠詞＋ **plus [moins]** ＋形容詞・副詞＋**de**～

C'est elle qui est *la plus* intelligente *de* la classe. クラスで最も聡明なのは彼女です.

C'est moi qui cours *le moins* vite *de* la classe. クラスで最も足が遅いのは私です.

◇ 形容詞の最上級では、定冠詞と形容詞は関係する名詞・代名詞の性・数に一致します.副詞の最上級では、定冠詞はつねに **le** を用います.

3. 特殊な優等比較級・優等最上級

bon (*ne, s, nes*) よい, 優れた meilleur(*e*)(*s*) le (*la, les*) meilleur(*e*)(*s*)

bien よく, うまく mieux le mieux

Cette photo est *meilleure que* ma photo. この写真は私の写真よりよくとれている.

Qui chante *le mieux de* tes sœurs ? 君の姉妹のうちで誰が最も歌が上手ですか？

スタディガイド仏語 1 (ゼロから始めるフランス語)

S0456-3-6



スタディガイド (学習指導書) < 仏語 1 >

『ゼロから始めるフランス語』

2009 年 2 月 28 日 第 1 版第 1 刷発行
2018 年 3 月 1 日 第 1 版第 6 刷発行 (一部修正)
2024 年 3 月 1 日 第 1 版第 7 刷発行

発行所 法政大学通信教育部
102-8445 東京都千代田区富士見 2-17-1
電話 03 (3264) 6557
印刷所 株式会社 エイチ・ユー
102-0073 東京都千代田区九段北 3-3-5
電話 03 (3264) 9569